

一般社団法人 鳥取県作業療法士会

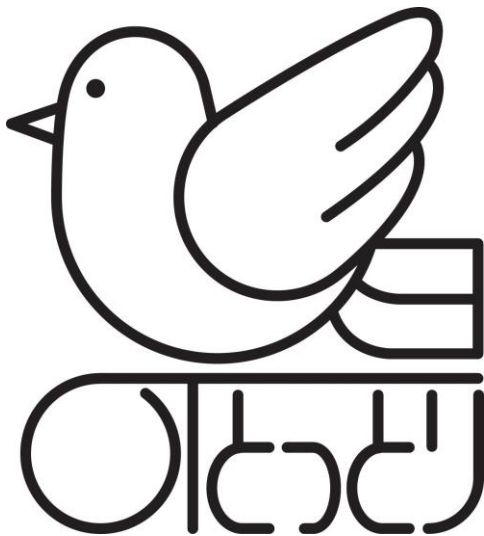
平成28年度 定時社員総会

議 案 書

期日：平成28年5月15日（日）9：30～10：30

会場：地域交流センター アゼリアホール

（倉吉市山根43 TEL0858-26-1012）



これからも あたたと共に 作業療法

一般社団法人 鳥取県作業療法士会

事務局

〒683-0841 鳥取県米子市上後藤3-5-1

養和病院リハビリテーション課内

TEL 0859-29-5351

FAX 0859-29-7179

総 会 次 第

1. 開会のことば
2. 議 長 選 出
3. 会 長 挨 拶
4. 理 事 紹 介
5. 定足数報告
6. 書 記 任 命
7. 決 議 事 項
 - 第1号議案 平成27年度事業報告書承認の件
 - 第2号議案 平成27年度決算報告書承認及び監査報告の件
 - 第3号議案 その他
8. 報 告 事 項
 - 平成28年度事業計画及び予算
9. そ の 他
10. 議 長 解 任
11. 閉会のことば

目 次	
総 会 次 第	1
決 議 事 項	2
第1号議案 平成27年度事業報告承認の件	2
事務局	2
渉外部	3
広報部	3
事業部	5
学術部	6
教育部	7
領域対策部	9
財務部	9
規約委員会	10
倫理委員会	10
総会議事運営委員会	10
生活行為向上マネジメント委員会	10
地域包括ケアシステム対策委員会	12
認知症対策委員会	14
その他	14
第2号議案 平成27年度決算報告書承認及び監査報告の件	15
財産目録	15
貸借対照表	15
平成27年度決算書	16
正味財産増減計算書	24
監査報告書	25
第3号議案 その他	26
報 告 事 項	27
平成28年度事業計画及び予算	27
事務局	27
渉外部	28
広報部	28
事業部	28
学術部	29
教育部	30
領域対策部	30
財務部	31
規約委員会	31
倫理委員会	31
総会議事運営委員会	31
選挙管理委員会	31
生活行為向上マネジメント委員会	32
地域包括ケアシステム対策委員会	32
認知症対策委員会	32
予算書	34
鳥取県士会組織図	38

第1号議案 平成27年度 事業報告書承認の件

平成27年度 事業報告

◎ 事務局

1. 本部事務局

(1) 会議の開催

会 議 名		期 日	会 場
定 期 総 会		平成27年 5月17日 (日)	鳥取県立倉吉未来中心
理 事 会	第1回	平成27年 4月25日 (土)	ル・ソラリオン名和
	第2回	平成27年 7月 4日 (土)	ル・ソラリオン名和
	第3回	平成27年 9月12日 (土)	山陰労災病院
	第4回	平成27年11月28日 (土)	ル・ソラリオン名和
	第5回	平成28年 1月23日 (土)	ル・ソラリオン名和
	第6回	平成28年 3月14日 (土)	ル・ソラリオン名和

(2) 会員管理事務

① 会員の入退会管理 (平成28年3月31日現在)

会 員 数				異 動 届			
名				件			
一 般	自 宅	入 会	退 会	勤務先変更	転 出	転 入	アドレス変更
445名	12名	37名	6名	27件	7件	5件	6件

② 電子メール連絡網更新 (名簿作成とメール配信を含む)

③ その他

(3) 文書処理

	総 数	会 員	OT協会	他士会	鳥取県	鳥取県社協	その他
文書受取・保管	260件	5件	28件	132件	17件	18件	60件

(4) 作業療法士に関係する全国組織との連携

① 日本作業療法士協会

- i. 定時社員総会：平成27年5月30日 東京 鳥取県代議員：松本太蔵、土肥繁樹
- ii. 日本作業療法士協会・都道府県作業療法士会合同役職者研修会：
47都道府県委員会に組み込まれる
- iii. 47都道府県委員会 年4回
 - 第1回 平成27年4月12日 (日) 東京 会長：松本太蔵
 - 第2回 平成27年5月31日 (日) 東京 会長：松本太蔵
 - 第3回 平成27年7月25日 (土), 26日 (日) 東京 会長：松本太蔵 理事：永見忠志
 - 第4回 平成28年1月16日 (土) 東京 会長：松本太蔵
- iv. 会員情報システム管理 中部事務局
- v. 日本作業療法士協会の現況調査入力
- vi. その他

② 都道府県作業療法士会連絡協議会

平成27年5月31日 東京 会長：松本太蔵

③ 災害リハビリテーションコーディネーター研修会

未実施

④ その他

3 協会合同都道府県士会長会議

平成28年3月21日 (月) 東京 会長：松本太蔵

2. 東部支部
 - (1)東部地区の会員管理事務
 - (2)封筒作成：封筒作成：角2号1，500枚
3. 中部支部
 - (1)中部地区の会員管理事務
 - (2)全域の会員管理事務
全域の入退会管理、名簿作成、地区電子メール連絡網更新し、本部事務局へ提出
4. 西部事務局
西部地区の会員管理事務

◎ 渉外部

1. 関係機関との渉外、連絡・調整に関わること

(1)鳥取県社会福祉協議会との協力・連携・調整

- ①平成27年度介護専門職研修事業 研修企画会議出席
平成27年7月31日（金）、平成28年3月11日（金）中島 直（鳥取医療センター）
- ②介護専門職研修 講師 調整
 - i 「高次脳機能障害」 平成27年7月2日（木） 佐野 積（大山リハビリテーション病院）
 - ii 「福祉用具・住宅改修」平成27年7月11日（土） 永原祐二（とみます外科）
 - iii 「住環境整備～快適な住い作り～」
平成27年7月21日（火） 梅津清司郎（YMCA 米子医療福祉専門学校）
松井 香（藤井政雄記念病院）
 - iv 「高齢者と楽しむレクリエーション」
平成28年1月8日（金） 河合菜摘 野津ちあき（サンライズひえつ）
平成28年1月27日（水） 坂本一郎（さとに田園クリニック）

(2)特別支援教育への協力

①会員、学校との連絡調整

- i 中之郷小学校 平成27年9月14日（月）10月2日（金）、22日（木）
土肥繁樹（鳥取市医療看護専門学校）
- ii 羽合小学校 平成28年2月2日（火） 来間 寿史（NPO 陽なた）
白鳳高等学校 平成28年2月15日（月） 来間 寿史（NPO 陽なた）
- iii 琴浦高等特別支援学校 平成27年7月24日（金） 谷口 弘（中部療育園）

②教育委員会との連携

訪問（現状と今後について確認） 平成28年1月7日（木） 谷口 弘（中部療育園）

(3)日本作業療法士連盟総会、研修会 平成28年2月21日（日）欠席

(4)国民のための医療推進協議会鳥取集会 平成27年12月15日（火）長田 貴徳（尾崎病院）

(5)YMCA 米子医療福祉専門学校 入学式 4月2日（木）松本太蔵（養和病院）

卒業式 3月11日（金）段敬史（サンライズ名和）

◎ 広報部

1. 士会ニュース発行（年4回）

発行号数	担当施設名
87号（6月発行）	野島病院
88号（8月発行）	皆生温泉病院
89号（11月発行）	鳥取大学医学部附属病院
90号（2月発行）	鹿野温泉病院

2. 広報資料の取り寄せ（日本作業療法士協会より）

リーフレット改訂	1,000部
ポスター	150部
オペラ19号	300部
OT一般向けパンフレット	200部

3. 学校への啓発・広報活動

(1) 資料配布

① 高校への配布

配布先	実施時期	配 布 内 容
各高校	7 月	施設見学案内、ポスター等

② 委員会・小学校・中学校・特別支援学校への配布（特別支援教育関係）

配布先	配布数	配布内容
教育委員会	2 4 件	パンフレット、リーフレット
小学校	1 3 2 件	
中学校	6 1 件	
特別支援学校	1 1 件	
合計	2 2 8 件	

(2) 施設見学（東部、中部、西部の各地区の承諾施設で実施） 7～8 月

	実 施 日	人 数	受け入れ施設名
中 部	8 月 7 日	1 名	野島病院（河田 修）
合 計	—	1 名	

4. 一般への啓発・広報活動

(1) 作業療法推進キャンペーン活動開催

①主催：一般社団法人 鳥取県作業療法士会

②共催：一般社団法人 日本作業療法士協会

③協賛：ガイナレ鳥取

④期日：平成 27 年 10 月 17 日（土） 10：00～15：30

⑤会場：鳥取駅前商店街 バード・ハット

⑥内容：i. 作る一作るって楽しい！飾り箱作り

ii. 自助具作り—自助具ってなあに？おゆまるで簡単自助具作り

iii. 自助具体験—いちどにありがとう 16・片手で出来る薬袋開け
(生活の工夫と自助具体験)

iv. Let's 腰痛体操—家でも出来る腰痛体操の紹介

v. 相談する—リハビリについて、進路について

vi. 作品展示

⑦来場者：105 名

⑧担当者

統括	勝部 智子（ 倉吉病院 ）
実行委員長	福田 和子（ 鹿野温泉病院 ）
会場担当	稲田 拓也（ いなば幸朋苑 ）
企画担当	河田 修 （ 野島病院 ）
広報担当	下石 勝哉（ 鳥取生協病院 ）
会計担当	湯谷 愛子（ 鳥取生協病院 ）
協力	橋本 順子（ 鳥取大学医学部附属病院 ） 景山 直史（ 皆生温泉病院 ）

⑨協力者：25 名（士会 24 名、協会 1 名）

日本作業療法士会 広報部員：杉本 努

福田 和子、寺口 健、宮代 美紀、江谷 直子、田中 良江、植田 里奈（鹿野温泉病院）

下石 勝哉、湯谷 愛子、加柴 理沙、稲村 沙也加、森田 彩子、尾崎 彩、西村 佑子、
木下 真実、出雲谷 祐介（鳥取生協病院）

河田 修、原田 沙織（野島病院）

吉野 舞、横尾 和也、景本 由美子（渡辺病院）

稲田 拓也（いなば幸朋苑）

藤田 恵子（セラトピア）

橋本 順子（鳥取大学医学部附属病院）

勝部 智子（倉吉病院）

5. 作業療法推進月間（8月）

(1) ポスターの配布

県内のOT在籍施設、市町村役場、OTが不在籍の病院・老健

(2) オペラ 19 号の配布

県内のOT不在籍の病院・老健

6. ホームページ管理・更新

・新規掲載記事 244件

7. 日本作業療法士協会との連携

・Web会議：実務なし

8. その他

・リーフレット作成、H28年度へ持ち越し

◎ 事業部

1. 訪問リハビリテーション実務者研修会

(1)期日：平成28年2月13日（土）14日（日）

(2)会場：養和病院リハビリテーションセンター 4階 地域交流ホール

(3)内容：2月13日（土）

① 講演「Let's在宅へ街へ出よう！～」

講師：露木 昭彰 氏（有限会社足柄リハビリテーションサービス 代表取締役 財団法人訪問リハビリテーション振興財団 研修班 班長）

② 講演「訪問を含む在宅リハの現状と今後の展望～あなたマネジメントできますか～」

講師：谷 隆博 氏（株式会社かなえるリンク 代表取締役 一般社団法人日本作業療法士協会 理事 財団法人訪問リハビリテーション振興財団 常務理事）

③ 講演「Enjoy！！在宅でのリスク管理～呼吸循環にフォーカスして～」

講師：阿部 勉 氏（リハビリ推進センター株式会社 代表取締役 株式会社アクトデザイン 取締役 NPO法人全国在宅リハを考える会 理事 財団法人訪問リハビリテーション振興財団 組織化班 班長）

2月14日（日）

④ 講演「地域話し方・動き方教室～お宅へのお邪魔の仕方・会議参加の心得等々～」

講師：松本 太蔵 氏（養和病院 リハビリテーション課 課長 一般社団法人鳥取県作業療法士会 会長 鳥取県訪問リハ地域リーダー）

⑤ 講演・討議「活動・参加を目的とするリハサービスの展開について～事例を元に～」

講師：小磯 孝則 氏（訪問リハビリテーションゆうとびあ）

⑥ 討議・総括「活動・参加を目的とするリハサービスの展開について～事例を元に～」

講師：松本 太蔵 氏（養和病院 リハビリテーション課 課長 一般社団法人鳥取県作業療法士会 会長 鳥取県訪問リハ地域リーダー）

(4)参加者：109名（内 作業療法士51名）

(5)委員：松本 太蔵（養和病院） 段 敬史（サンライズ名和）

当日協力 門脇 達也（養和病院） 渡部 幸博（養和病院）

山下 大輔（養和病院） 小早川 恵（養和病院）

2. 訪問リハ地域リーダー会議

(1)期日：平成27年5月21日（木）22日（金）

(2)会場：東京都江東区青梅 タイム24ビル

(3)出席者：松本 太蔵（養和病院）

3. 訪問リハビリテーションフォーラム2015

(1)期日：平成27年5月23日（土）

(2)会場：東京都江東区有明 東京ビッグサイト

(3)出席者：松本 太蔵（養和病院）

4. 中国ブロックリーダー養成研修会

(1)期日：平成27年8月29日（土）30日（日）

(2)会場：岡山県岡山市北区桑田町 岡山シティホテル桑田町
岡山県岡山市北区下石井 ピュアリティまきび

(3)内容：8月29日

① クローズド研修

- i. 各士会の現状報告
- ii. グループワーク

8月30日

② オープン研修

講演「作業療法部門強化のためのリーダー研修」

講師：三好 貴之 氏（株式会社メディックプランニング 代表取締役 作業療法士）

(4)参加者：両日参加

土井 宣幸（はまかぜ） 永見 忠志（皆生温泉病院）
山下 大輔（養和病院） 勝部 智子（倉吉病院）
松本 太蔵（養和病院） 田住 秀之（YMC A米子）

1日参加

山本 麻未（倉吉病院） 門脇 達也（養和病院）
松本 周三（三朝温泉病院） 段 敬史（サンライズ名和）
原田 伸吾（つむぎ） 坂本 一郎（さとに田園クリニック）

◎ 学術部

1. 第12回鳥取県作業療法学会

(1)会期：平成27年11月8日（日）

(2)会場：倉吉病院 アゼリアホール

(3)主題：『東日本大震災から4年・・・今だからこそ 作業療法を見つめて』

～知っておこう!!動いていこう!!普段からできること、災害後にもできること～

(4)内容：i 特別講演（公開講座）

「想定外だらけの災害時、作業療法士として人としてあなたならどうする？」

～『正解』がいくつもある中で悩み続けて想うこと～

講師 清山 真琴氏（復興庁福島復興局 南相馬市健康福祉部健康づくり課母子保健係
作業療法士）

ii 学術集会 ポスター発表10演題

口述発表 8演題

(5)参加者：159名（会員140名、会員外の作業療法士2名、学生7名、一般10名）

(6)委員会：i 役割

学会長	藤田 恵子	（セラトピア）
実行委員長	福田 亜樹子	（老人保健施設のじま）
副実行委員長	西村 純一	（清水病院）
広報	青山 千穂	（野島病院）
演題	竹田 佳弘	（藤井政雄記念病院）
学会誌・プログラム	前谷 達也	（ル・サンテリオン）
会計	松本 周三	（三朝温泉病院）
会場・機器	幸田 真	（倉吉病院）
学術部	廣谷 知美	（老人保健施設やすらぎ）
	兼藤 紗絵子	（倉吉病院）

当日スタッフ

司会	西村 純一	（清水病院）	福田 亜樹子	（老人保健施設のじま）
会場	山根 七恵	（倉吉病院）	中村 貴紀	（三朝温泉病院）
	増崎 堅斗	（三朝温泉病院）	松本 生	（三朝温泉病院）
駐車場	谷田 涼香	（倉吉病院）	勝部 智子	（倉吉病院）

	伊藤 友紀子 (倉吉病院)	舟木 絵美 (倉吉病院)
	小笹 万起子 (サンテリオン北条)	原 佐百合 (サンテリオン北条)
視聴覚機器	山本 麻未 (倉吉病院)	岩田 由紀 (倉吉病院)
	山根 由紀子 (清水病院)	泉 香奈子 (清水病院)
受付	河田 修 (野島病院)	中井 佑美 (野島病院)
	竹谷 豊 (老人保健施設のじま)	濱田 真希 (セラトピア)
	松井 香 (藤井政雄記念病院)	園山 美由紀 (藤井政雄記念病院)
	高橋 博子 (藤井政雄記念病院)	

ii 委員会開催

- 第1回 平成27年 4月26日 (木)
 第2回 平成27年 5月 8日 (金)
 第3回 平成27年 6月25日 (木)
 第4回 平成27年 7月23日 (木)
 第5回 平成27年 8月 6日 (木)
 第6回 平成27年 8月27日 (木)
 第7回 平成27年 9月17日 (木)
 第8回 平成27年10月15日 (木)
 第9回 平成27年11月 4日 (水)
 第10回 平成27年11月 7日 (土) 前日打ち合わせ
 第11回 平成27年11月25日 (水) 反省会

2. 第13回鳥取県作業療法学会 (平成28年度開催：担当は西部地区)

(1)学会長・実行委員長・副実行委員長の推薦

学 会 長 : 長谷川 徹 (はまなす)

実行委員長 : 門脇 達也 (養和病院)

副実行委員長 : 青砥 瞳 (米子病院)

3. (テーマ別)勉強会実施

地区	テーマ名	登録者数 (前年数)	開催回数	補助金支給額	登録割合 (前年)
東部	全 般	94 名 (68 名)	3 回	20,000 円	94 名 / (68 名)
中部	中部合同	34 名 (36 名)	7 回	0 円	48 名 / (49 名)
	精 神 科	14 名 (13 名)	4 回	15,145 円	
西部	作業を考える	27 名 (21 名)	5 回	0 円	127 名 / (123 名)
	C V A	40 名 (40 名)	6 回	0 円	
	福祉機器・住環境	27 名 (25 名)	6 回	0 円	
	精 神 科	26 名 (26 名)	5 回	0 円	
	治療演習	7 名 (11 名)	0 回	0 円	
総計	—	269 名 (240 名)	36 回	35,145 円	269 名 / (240 名)

◎ 教育部

1. 生涯教育制度に関する管理

(1)ホームページ「生涯教育制度について」更新

- 4.26 5.30 1. 生涯教育制度－あなたの課題は？
 5.30 2. ポイント記録・手帳再発行・休止期間について
 4.26 11.06 3. 現職者共通研修について
 8.05 5. SIG について
 4.01 6. 基礎研修ポイント申請書

(2)生涯教育履修状況の管理－生涯教育履修リスト更新：県士会名簿更新時、基礎研修開催時、事務局からの連絡時等に随時実行. 認定OT 8名、基礎研修修了者 28名

(3)基礎研修ポイント管理・発行

- ①協会よりポイントシール受領・返却 4.12 返却 36P、H27 分申請 1500P
 ②士会裁量基礎研修ポイント集計・発行 3.31 平成 27 年度分発行予定

- ③現職者共通研修修了ポイント発行 12 件 240P
 ④現職者選択研修会ポイント発行 3.06 35 名 70P
 ⑤鳥取県作業療法学会ポイント発行 11.08 参加 142 発表 20 計 162 名 324P
 ⑥基礎研修会（土会主催及び共催）ポイント発行

5.17	地域包括ケアシステム研修会	83 名	166P
6.06	作業行動から考える認知症の理解と対応	12 名	24P
6.17	生活行為向上マネジメント第 5 回西部地区研修会	13 名	26P
7.05	生活行為向上マネジメント第 5 回東・中部地区研修会	19 名	38P
10.18	第 4 回 MTDLP 大研修会	93 名	186P
11.28	「福祉用具活用方法について考える」研修会	6 名	12P
12.06	第 1 回認知症研修会	98 名	196P
12.13	地域包括ケアシステム西部地区研修会	32 名	64P
1.24	地域包括ケアシステム東中部地区研修会	40 名	80P
1.27	生活行為向上マネジメント第 6 回西部地区研修会	19 名	38P
1.30・31	地域包括ケアシステム大研修会	93 名	300P
2.13・14	第 6 回鳥取県訪問リハ実務者研修会	48 名	170P
3.05	第 2 回認知症研修会	44 名	84P
3.27	第 3 回認知症研修会	65 名	108P

- ⑦基礎研修ポイント申請の受付・発行 25 件 79P

2. 生涯教育制度に関する開催

(1)現職者共通研修会

期日と会場	区分	テーマ	講師	認定数
①前期 7月26日(日) 会場：西部 YMCA米子	I	作業療法生涯教育概論	花 倉 敏 文：養和病院	30
		職業倫理	長田 貴徳：尾崎病院	30
	III	保健・医療・福祉と地域支援	長谷川 徹：はまなす	23
		作業療法における協業・後輩育成	田住 秀之：YMCA 米子	23
②後期 10月25日(日) 会場：中部 倉吉体育文化会館	II	作業療法の可能性	早川 泰詞：山陰労災病院	19
		事例報告と事例研究	高梨 悠一：YMCA 米子	19
	IV	日本と世界の作業療法の動向	佐野 積：大山小病院	23
		実践のための作業療法研究	松本 太蔵：養和病院	23

3. 生涯教育に関する研修会等の認定

(1)現職者共通研修「事例報告」「事例検討」認定

地区	テーマ名	件数 (前年度)	認定者数（前年度）	
			事例報告	事例検討
東部	全 般	1(2)	1	4
中部	中部合同	2(2)	5	3
	精 神 科	0(1)	0	0
西部	作業を考える	0(1)	0	0
	C V A	6(5)	5	9
	社会資源	0(0)	0	0
	治療演習 A D L 分析	0(0)	0	0
	精 神 科	1(0)	2	2
計		10(11)	13(15)	18(9)

(2)基礎研修会認定

- 6.06 行動科学から考える認知症の理解と対応：東部全般
 7.17 精神医療と精神科作業療法について：中部精神科（JR 不通のため中止）
 11.28 福祉用具活用について考える：東部全般

- (3) S I G 等登録認定 7 月：日本転倒予防学会
4. 日本作業療法士協会の生涯教育制度推進担当者
- (1) 生涯教育制度推進委員会への出席：10.3・4 平成 27 年度生涯教育制度推進担当者会議（東京文具共和会館）
5. 会員への情報伝達
- (1) 県士会ニュースへの掲載
- ・士会裁量ポイントについて
 - ・平成 27 年度前期現職者共通研修会のご案内
 - ・平成 27 年度後期現職者共通研修会のご案内
 - ・平成 27 年度生涯教育推進担当者会議報告
- (2) ホームページへの掲載
- ・平成 27 年度前期現職者共通研修会のご案内
 - ・平成 27 年度後期現職者共通研修会のご案内
6. 他部との連携・協力
- (1) 学術部：テーマ別勉強会、基礎研修会、ポイント発行など
- (2) 事業部：鳥取県作業療法学会、生活行為向上マネジメント研修会、訪問リハビリテーション実務者研修会など
- (3) 領域対策部：現職者選択研修会など
- (4) 事務局：会員管理事務など

◎ 領域対策部

1. 現職者選択研修（老年期領域）

(1) 期日：平成 28 年 3 月 6 日（日） 9：00～16：30

(2) 会場：YMCA 米子医療福祉専門学校 202 教室

(3) 内容：

テーマ 1：老年期の基礎知識	梅津清司郎：YMCA 米子医療福祉専門学校
テーマ 2：老年期作業療法の治療的枠組み	南征吾：大和大学
テーマ 3：地域生活を支援する 生活行為マネジメント	小椋善文：米子市長寿社会課
テーマ 4：老年期作業療法実践 トピックス	南征吾：大和大学

(4) 参加者：35 名（県内 32 名 県外 3 名）

2. 情報配信

(1) 配信回数 61 件（平成 27 年 4 月～平成 27 年 3 月 31 日）

◎ 財務部

1. 会費徴収について

(1) 会費徴収

① 会員数：447 名

② 会費納入者数：443 名

③ 会費未納者数：4 名

④ 徴収率：99%

(2) 未納者への督促

① ホームページや県士会ニュースへ未納者の会員番号（OT 協会）を掲載

② 平成 27 年 12 月に会費未納者に対して督促状と振込用紙の送付を実施

2. ボランティア保険加入手続き

150 名の加入手続きを行った

3. 予算事務に関する特記事項

(1)～(8)については計上した予算は決算書のとおり執行した

◎ 規約委員会

1. 規約委員会開催

(1)期日：平成 28 年 3 月 12 日

メール委員会開催：開催回数 3 回

(2)内容：役員の選出に関する規程の作成

◎ 倫理委員会

1. 現職者共通研修会「職業倫理」の講演

(1)期日：平成 27 年 7 月 26 日(日) 11:10～12:40

(2)会場：YMCA 米子医療福祉専門学校

(3)講師：長田貴徳氏

2. 相談への対応

相談件数：0 件

3. 一般社団法人日本作業療法士協会との連携

一般社団法人日本作業療法士協会 倫理委員会への報告はなし

◎ 総会議事運営委員会

1. 定時社員総会の議案書作成

2. 定時社員総会の開催

(1)期日：平成 27 年 5 月 17 日(日) 13:00～14:00

(2)会場：鳥取県立倉吉未来中心（倉吉市駄経寺町 2 1 2 - 5）

(3)内容：平成 26 年度事業報告書承認

平成 26 年度決算報告書承認及び監査報告

平成 27 年度事業計画及び予算

(4)その他：議長 池本 真一（三喜苑）

書記 河本 仁美、小笹 万起子（ル・サンテリオン北条）

◎ 生活行為向上マネジメント委員会

1. 全県委員会開催

第 1 回：平成 27 年 4 月 19 日 第 2 回：平成 27 年 6 月 7 日 第 3 回：平成 27 年 8 月 2 日

第 4 回：平成 27 年 9 月 27 日 第 5 回：平成 28 年 1 月 17 日 第 6 回：平成 28 年 3 月 5 日

2. 地区別委員会

東部 3 回、中部 5 回 西部 7 回

3. 全国会議

①第 3 回生活行為向上マネジメント全国推進会議

期日：平成 27 年 5 月 23 日（土）～5 月 24 日（日）

場所：A P 浜松町（東京都）

参加者：土井 宣幸（はまかぜ）

②第 4 回生活行為向上マネジメント全国推進会議

期日：平成 27 年 12 月 12 日（土）～13 日（日）

場所：東京都 浅草橋

参加者：土井 宣幸（はまかぜ）、松本 周三（三朝温泉病院）

4. 研修会

①県外研修会

i. 生活行為向上マネジメント中国ブロック研修会

日時：平成 27 年 9 月 13 日（日）

場所：倉敷市（川崎リハビリテーション学院）

内容：事例検討

スタッフ参加：土井 宣幸、鬼木 徳子

- ii. 第1回中国ブロック老人保健施設大会 in 広島
 日時：平成27年11月27日（金）～28日（土）
 場所：広島国際会議場
 内容：生活行為向上リハビリテーション パネルディスカッション
 パネリスト参加：土井 宣幸
- iii. 生活行為向上マネジメント指導者研修会
 日時：平成28年1月30・31日
 場所：日本リハビリテーション専門学校 東京都
 参加者： 鬼木 徳子
- iv. 広島県MTDLP 特別研修会
 日時：平成28年2月21日（日）
 内容：事例登録公開審査研修
 場所：広島国保会館
 参加者：土井 宣幸（はまかぜ）、松井 香（藤井政雄記念病院）、鬼木 徳子（やわらぎ）、
 松本 周三（三朝温泉病院）、高平 洋和（皆生温泉病院）、峰地 由香里（ほほえみ）、
 小磯 孝則（ゆうとぴあ）、泉 香奈子（清水病院）

②県内研修会

- i. 第5回生活行為向上マネジメント西部地区研修会
 日時：平成27年6月17日（水） 19：00～20：40
 内容：事例報告
 場所：YMCA 米子医療福祉専門学校
 参加者：32名
- ii. 第5回生活行為向上マネジメント東・中部地区研修会
 日時：平成27年7月5日（日） 10：00～12：00
 内容：事例報告
 場所：尾崎病院
 参加者：21名
- iii. 第6回生活行為向上マネジメント基礎研修会
 日時：平成27年9月5日（日） 13：00～17：00
 内容：概論(90分)、演習(120分)
 場所：アゼリアホール
 参加者：41名(内3名理学療法士)
- iv. 第4回生活行為向上マネジメント大研修会
 日時：平成27年10月18日（日）
 内容：面接法及び演習
 場所：養和病院地域交流ホール
 講師：斉藤祐樹氏、馬場孝氏
 参加者：県士会員74名、他県士会1名、学生17名 計：92名
- v. 第6回生活行為向上マネジメント西部地区研修会
 日時：平成28年1月27日(水)19：00～21：10
 内容：事例検討会
 場所：YMCA 米子医療福祉専門学校
 参加者：13名
- vi. 第7回生活行為向上マネジメント基礎研修会
 日時：平成28年2月27日(土)9：00～16：20
 内容：概論(90分)演習(330分)
 場所：アゼリアホール
 参加者：51名

◎ 地域包括ケアシステム対策委員会

1. 研修会開催

(1) 地域包括ケア研修会開催

- ①開催日：平成27年5月17日（日）総会終了後
- ②会 場：倉吉未来中心
- ③内 容：「地域包括ケアシステムの概要・鳥取県作業療法士会の今後の展望」
講 師：松本 太蔵 氏（鳥取県作業療法士会会長）
：「地域包括ケアシステム 米子市の現状報告」
講 師：小椋 善文 氏（米子市役所 長寿社会課）
- ④参加者：101名（会員86名 新入会員15名）

(2) 地域包括ケアシステム西部地区研修会

- ①開催日：平成27年12月13日（日）
- ②会 場：西部歯科保健センター
- ③テーマ：地域包括ケアシステムの構築における他職種との協業連携を目指して
講演① 県西部圏域の地域の特性・現状と今後の課題について
講師：鳥取大学医学部 地域医療学 谷口 晋一 教授
講演② 口腔ケアにおける必要な知識とOTが口腔ケアに協業できること
講師：Y Aデンタルクリニック 足立 融 氏

④参加者：32名

⑤協力委員：

小椋 善文	（米子市役所）	段 敬史	（サンライズ名和）
北坂 祥子	（はまかぜ）	横野 洋子	（仁風荘）
山本 香織	（おしどり荘）	永見 忠志	（皆生温泉病院）
日野 祐樹	（皆生温泉病院）	藤井 やよい	（皆生温泉病院）
松本 太蔵	（養和病院）		

(3) 地域包括ケアシステム大研修会

- ①開催日：平成28年1月30日（土）・31日（日）
- ②会 場：養和病院 地域交流ホール
- ③テーマ：地域包括ケアシステムの理解と作業療法士の役割

1月30日（土）1日目

- 講演①「地域包括ケアシステムの概要について」
～地域で起きている課題の整理とシステムの理解～
講師：鳥取県長寿社会課 課長 小澤 幸生 氏
- 講演②「地域包括ケアシステムに求められる作業療法士の役割について」
講師：神奈川作業療法士会リハ部担当
新緑訪問看護ステーション長津田 木村 修介 氏
- 講演③「地域連携における現状報告」
講師：神奈川作業療法士会リハ部担当
新緑訪問看護ステーション長津田 木村 修介 氏

1月31日（日）2日目

- 講演④「多職種との協業・社会資源の利用」
講師：姫路市役所 健康福祉局 長寿社会支援部
地域包括支援課 兼子 芳文 氏
- 講演⑤「接遇について～コミュニケーション能力を高めるポイントを学ぶ」講師：P－c
reate代表 松下 香寿美 氏

④参加者：93名

⑤協力委員：

小椋 善文	（米子市役所）	段 敬史	（サンライズ名和）
北坂 祥子	（はまかぜ）	横野 洋子	（仁風荘）
山本 香織	（おしどり荘）	永見 忠志	（皆生温泉病院）
長田 貴徳	（尾崎病院）	清水 里江子	（尾崎病院）

坂本 有加 (尾崎病院)	橋本 梢 (尾崎病院)
坂本 一郎 (さとに田園クリニック)	村上 聡 (まさたみの郷)
廣谷 知美 (やすらぎ)	平木 久美子 (ウェルフェア渡辺病院)
佐野 和代 (いなば幸朋苑)	松井 香 (藤井政雄記念病院)
大西 千香子 (清水病院)	西村 純一 (三朝温泉病院)
河田 修 (野島病院)	福井 由香里 (ル・サンテリオン)
松本 太蔵 (養和病院)	

(4) 地域包括ケアシステム東中部研修会

①開催日：平成28年1月24日(日)

②会 場：県立福祉人材センター 2階 第1小研修室

③テーマ：地域包括ケアシステムの構築における他職種との協業連携を目指して

講 演①「地域包括ケアシステムの推進に向けた現状と今後の課題 ～OTに期待するもの～」

講師：北栄町包括支援センター社会福祉士

松嶋 まゆみ 氏

講 演②「在宅における薬の知識と薬剤師の役割 ～事例を通して～」

講師：有限会社 徳吉薬局取締役 薬局事業部企画室長 薬剤師

徳吉 淳一 氏

④参加者：40名

⑤協力委員：

長田 貴徳 (尾崎病院)	下石 勝哉 (生協病院)
原田 伸吾 (デイサービスつむぎ)	景本 由美子 (渡辺病院)
佐野 和代 (いなば幸朋苑)	福井 由香里 (ル・サンテリオン)
岩田 みゆき (ル・サンテリオン)	山本 一輝 (ル・サンテリオン)
前谷 達也 (ル・サンテリオン)	

2. 委員会開催

(1) 地域包括ケアシステム対策委員会・生活行為向上マネジメント特設委員会

・認知症対策特設委員会合同委員会 平成27年6月14日

(2) 東部委員会

1回目 平成27年 7月13日	5回目 平成27年 12月22日
2回目 平成27年 8月20日	6回目 平成27年 1月19日
3回目 平成27年10月 8日	7回目 平成27年 2月16日
4回目 平成27年11月19日	

(3) 中部委員会

1回目 平成27年 8月 5日
2回目 平成27年11月20日
3回目 平成28年 1月20日

(4) 西部委員会

1回目 平成27年 7月14日	5回目 平成28年 1月 6日
2回目 平成27年10月29日	6回目 平成28年 1月25日
3回目 平成27年11月24日	7回目 平成28年 2月16日
4回目 平成27年12月 9日	8回目 平成28年 3月 1日

(5) 会計会議

地域包括ケアシステム対策委員会・生活行為向上マネジメント特設委員会

・認知症対策特設委員会合同会計会議

1回目 平成27年11月 2日	2回目 平成28年 1月20日
-----------------	-----------------

3. パンフレット作製

作製枚数 1200枚

◎ 認知症対策委員会

1. 第1回認知症研修会

日 時：2015年12月6日（日）

場 所：YMCA 米子医療福祉専門学校 201教室

内 容：『認知症の人の生活支援と作業療法士の役割』

講師；比留間ちづ子氏（若年認知症社会参加支援センタージョイント所長）

『認知症初期集中支援の概要と認知症初期対応』

講師；谷川良博氏（広島都市学園大学）

参加者：89名

2. 第2回認知症研修会

日 時；3月5日（土）10：30～16：00

会 場；アゼリアホール

内 容；特別講演『認知症をきたす疾患の理解と予防について』

講師；鳥取大学医学部保健学科教授 浦上 克哉 氏

シンポジウム『認知症施策に基づく地域の取り組みと課題』

中部：石賀 純子 氏（倉吉市認知症地域支援推進員）

西部：小椋 善文 氏（米子市役所 長寿社会課）

東部：石田 町子 氏（鳥取市役所地域包括ケア推進室地域支援係）

3. 第3回認知症研修会

日 時；3月27日（日）10：00～17：00

会 場；養和病院

内 容；講演Ⅰ『認知症の理解と地域支援～まぜこぜの世界をめざして～』

講師；小川 敬之 氏（九州保健福祉大学 保健科学部教授）

講演Ⅱ『多職種協働におけるコミュニケーションのコツ～』

講師；京極 真 氏（吉備国際大学 保健科学部准教授）

講演Ⅲ『認知症の人への早期の支援』

講師；高橋 幸男 氏（エスポアール出雲クリニック理事長/院長）

4. 委員会：開催 年9回

5. 委 員：田住 秀之（YMCA 米子）、國本 尚史（渡辺病院）、石丸 雅崇（渡辺病院）
山根 七恵（倉吉病院）、山本 麻未（倉吉病院）、赤井理智子（西伯病院）
門脇 達也（養和病院）、金山 雄気（養和病院）、菊本 理恵（米子病院）

◎ その他

第2号議案 平成27年度決算報告書承認及び監査報告の件

財産目録				
平成28年3月31日現在				
(単位:円)				
科目		金額		
資産の部	1.流動資産			2,456,150
	1)現金	277,292	277,292	
	2)普通預金	鳥取銀行三柳支店 303931(財務)	1,396,238	
	普通預金	" 三柳支店 303940(事務局)	881	
	普通預金	" 三柳支店 303950(生活行為向上マネジメント)	387,313	
	普通預金	" 三柳支店 303978(領域対策)	0	
	普通預金	" 三柳支店 303987(広報)	0	
	普通預金	" 三柳支店 312449(学術)	0	
	普通預金	" 三柳支店 312458(地域包括ケア対策)	130,020	
	普通預金	" 三柳支店 312467(認知症対策)	0	
	郵便振替	ゆうちょ銀行	264,406	2,178,858
	3)立替金		0	0
	2.固定資産			300,000
	(1)特定資産			
負債の部	1)啓発グッズ等積立預金	ゆうちょ銀行	300,000	300,000
	資産合計			2,756,150
	I.流動負債			119,814
	1)前受金			
		正会員会費 H28 5件	25,000	119,814
	2)預り金		94,814	
	負債合計			119,814
	正味財産			2,636,336

鳥取県作業療法士会

貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	【2,456,150】	【流動負債】	【119,814】
現金・預金	2,456,150	前受金	25,000
		預り金	94,814
立替金	0	負債合計	119,814
		純資産の部	
【固定資産】	【300,000】	【剰余金】	【2,636,336】
(特定資産)	(300,000)	啓発グッズ積立金	300,000
啓発グッズ積立預金	300,000	繰越利益剰余金	2,336,336
		純資産合計	2,636,336
資産合計	2,756,150	負債・純資産合計	2,756,150

平成27年度決算書（全体）

自 平成27年4月 1日
至 平成28年3月31日

勘定科目			
大科目	予算額	決算額	差額
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	2,150,000	2,215,000	△ 65,000
研修会収入	1,005,700	944,800	60,900
補助金等の収入	3,184,000	3,186,763	△ 2,763
雑収入	1,000	261	739
事業活動収入合計(A)	6,340,700	6,346,824	△ 6,124

(単位:円)

2. 事業活動支出			
(1) 管理運営部門			
	予算額	決算額	差額
事務局	539,100	400,234	138,866
規約委員会	11,000	0	11,000
倫理委員会	2,000	956	1,044
総会議事運営委員会	52,000	43,575	8,425
(2) 事業費支出			
渉外部	41,700	3,024	38,676
広報部	569,700	432,355	137,345
事業部	493,840	379,818	114,022
学術部	833,400	522,995	310,405
教育部	176,000	139,228	36,772
領域対策部	206,000	130,764	75,236
財務部	298,000	229,792	68,208
生活行為向上マネジメント委員会	558,000	48,600	509,400
地域包括ケア対策委員会	400,000	67,705	332,295
認知症対策委員会	367,000	2,763	364,237
生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業費	867,900	867,900	0
地域包括ケアシステム研修事業	1,305,000	1,305,000	0
チームケアリーダー育成研修事業	1,360,000	1,362,763	△ 2,763
事業活動支出計 (B)	8,080,640	5,937,472	2,143,168
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	△ 1,739,940	409,352	△ 2,149,292

勘定科目	第2次補正予算額	決算額	差額	差額
中 科 目				
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
啓発グッズ等積立預金取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計 (D)	0	0	0	
2. 投資活動支出				
啓発グッズ等積立預金取得支出	50,000	50,000	0	郵便振替預金内にて管理
投資活動支出計 (E)	50,000	50,000	0	
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	△ 50,000	△ 50,000	0	
III 予備費支出 (G)	200,000	0	200,000	
当期収支差額(H)=(C)+(F)-(G)	△ 1,989,940	359,352	△ 2,349,292	
前期繰越収支差額(I)	1,976,984	1,976,984	0	
次期繰越収支差額(J)=(H)+(I)	△ 12,956	2,336,336	△ 2,349,292	

平成27年度決算書（一般会計）

									自 平成27年4月 1日 至 平成28年3月31日
勘定科目									備 考
大科目	当初予算額	第2次補正予算額	決算額	差額	小科目	第2次補正予算額	決算額	差額	
I 事業活動収支の部									
1. 事業活動収入									
会費収入	2,150,000	2,150,000	2,215,000	△ 65,000	年会費	2,150,000	2,215,000	△ 65,000	5,000円×443名
研修会収入	976,800	536,800	475,900	60,900	第12回県学会	280,000	290,000	△ 10,000	鳥取県士会員 2,000円×140名 他県士会 5,000円×2名
					現職者共通研修	84,000	95,000	△ 11,000	1,000円×94名、500円×2名
					現職者選択研修	120,000	76,000	44,000	2,000円×32名、4,000円×3名
					MTDLP地区研修会	12,800	6,400	6,400	
					テーマ別勉強会	40,000	8,500	31,500	東部地区全般500円×17名
補助金等の収入	120,000	120,000	120,000	0	活動費	20,000	20,000	0	日本作業療法士協会
					助成金	100,000	100,000	0	日本作業療法士協会（生活行為向上マネジメント助成事業）100,000
					賛助費	0	0		
雑収入	1,000	1,000	261	739	雑収入	1,000	261	739	預金利息
事業活動収入合計(A)	3,247,800	2,807,800	2,811,161	△ 3,361					

(単位:円)

2. 事業活動支出														
(1) 管理運営部門														
	当初予算額	第2次補正予算額	決算額	差額	中項目	第2補正予算額	決算額	差額	小 項 目	第2次補正予算額	決算額	差額	備 考	
事務局	534,000	539,100	400,234	138,866	事 務 費	69,920	77,100	△ 7,180	事務用品費	24,920	39,048	△ 14,128	ファイル、名刺、コピー	
									通 信 費	10,000	4,032	5,968	振込手数料432円、切手3,600円	
									封筒作成費	35,000	34,020	980	角2封筒	
					会 場 費	9,000	6,606	2,394	会 場 費	9,000	6,606	2,394	理事会施設利用費 2,328円、2,554円、1,724円	
					役 務 費	343,180	226,236	116,944	旅 費	343,180	226,236	116,944	理事会6回分 111,500円	
													平成27年度定時社員総会 10,000円(日当5,000円×1日×2名)、3協会同会議日当5,000円	
													第3回47都道府県委員会78,636円(東京2日間:日当5,000円×2日×2名、宿泊費・交通費58,636円)	
													都道府県作業療法士会連絡協議会総会5,000円(東京:日当5,000円×1日 宿泊費・交通費協会負担)	
													県民税納税500円、市民税納税500円	
													47都道府県委員会10,000円(日当5,000円×1名×2回分) 第2回、3回は別の会議と同じ日にあったため無し	
													総会受付5,100円(1,200円×3名、1,500円×1名)	
					需 用 費	6,000	4,817	1,183	茶菓子代	6,000	4,817	1,183	1,005円(4月)、872円(9月)、980円(11月)、980円(1月)、980円(3月)	
					税 金	81,000	60,000	21,000	法人県民税	21,000	0	21,000	法人県民税・年間(鳥取県)	
									法人市民税	60,000	60,000	0	法人市民税・年間(米子市)	
					負 担 金	20,000	20,000	0	年 会 費	20,000	20,000	0	都道府県作業療法士会連絡会議	
					慶 弔 費	10,000	5,475	4,525	慶 弔 費	10,000	5,475	4,525	電報	
規約委員会	11,000	11,000	0	11,000	事 務 費	1,400	0	1,400	事務用品費	1,000	0	1,000		
									通 信 費	400	0	400		
					役 務 費	4,000	0	4,000	旅 費	4,000	0	4,000		
					需 用 費	5,600	0	5,600	食 糧 費	5,600	0	5,600		
倫理委員会	2,000	2,000	956	1,044	事 務 費	2,000	956	1,044	事務用品費	1,000	956	44	ファイル、その他必要な事務用品	
									通 信 費	1,000	0	1,000	切手、送料、電話料金	
総会議事運営委員会	15,000	52,000	43,575	8,425	事 務 費	2,000	540	1,460	事務用品費	1,000	540	460		
									通 信 費	1,000	0	1,000		
					会 場 費	17,000	16,980	20	会 場 費	17,000	16,980	20	総会会場費(会場代15,100円、備品使用代1,880円)	
					役 務 費	30,000	25,100	4,900	旅 費	30,000	25,100	4,900	総会22,600円(1,500円×10名、1,200円×3名、500円×8名) 委員会2,500円(500円×2名×2回、500円×1名×1回)	
					需 要 費	3,000	955	2,045	茶 菓 子 代	3,000	955	2,045		

(2)事業費支出													
渉外部	26,000	41,700	3,024	38,676	事 務 費	700	324	376	事務用品費	700	324	376	資料ファイル
						500	0	500	通 信 費	500	0	500	
					役 務 費	37,500	2,700	34,800	旅 費	37,500	2,700	34,800	県教育委員会訪問1,200円 鳥取県国民医療推進協議会総会500円 YMCA米子医療福祉専門学校入学式・卒業式交通費 1,000円(500円×2回)
						研修会費	3,000	0	3,000	研修会費	3,000	0	3,000
広報部	471,000	569,700	432,355	137,345	事 務 費	98,896	91,003	7,893	事務用品費	3,300	2,440	860	ニュース事務用品
									通 信 費	85,596	88,563	△ 2,967	ニュース送料・資料取り寄せ費
					印 刷 費	214,039	123,465	90,574	委 託 費	10,000	0	10,000	作業所委託
									印 刷 費	214,039	123,465	90,574	ニュース107,265円、広告16,200円
					ホームページ費	64,000	50,522	13,478	管 理 費	53,000	50,522	2,478	ホームページ管理費
									作 成 費	11,000	0	11,000	作成費11,000円
					役 務 費	27,400	25,000	2,400	旅 費	27,400	25,000	2,400	広報部会議22,500円(8,800円(500円×2名、1,200円×4名、1,500円×2名)、7,300円(500円×2名、1,200円×4名、1,500円×1名)、6,400円(500円×2名、1,200円×2名、1,500円×2名))
									需 要 費	2,801	2,781	20	公印受渡1,000円(500円×2名)、郵便局交通費1,000円(500円×2名)、総会500円
					啓発キャンペーン	162,564	139,584	22,980	茶菓子代	2,801	2,781	20	打合せお菓子代:963円、838円、930円
									事 務 費	51,454	51,886	△ 432	案内送料20,880円、荷物送料5,076円、24,200円(カラーコピー10円×2,420枚)、印刷用紙代 1,298円、振り込み手数料432円
									材 料 費	23,110	24,359	△ 1,249	
									会 場 費	15,000	8,000	7,000	施設利用料8,000円
									役 務 費	50,000	33,700	16,300	会議11,000円、6,100円(500円×2名、1,200円×3名、1,500円×1名)、4,900円(500円×2名、1,200円×2名、1,500円×1名)
									需 用 費	23,000	21,639	1,361	事前打合せ3,400円(500円×2名、1,200円×2名3,400円)、NHK交通費2,000円(500円×4名) 当日スタッフ17,300円(500円×19名、1,200円×4名、3,000円×1名) 弁当代15,600円(24名分) 茶菓子代6,039円
事業部	447,000	493,840	379,818	114,022	事 務 費	3,800	648	3,152	事務用品費	2,000	0	2,000	
									通 信 費	1,800	648	1,152	振込手数料648円
					訪問リハ	179,600	68,730	110,870	旅 費	84,600	53,730	30,870	訪問リハ地域リーダー育成: 53,730円(交通費33,730円、宿泊費10,000円、日当10,000円(5,000円×2日×1名))
									負 担 金	15,000	15,000	0	訪問リハビリテーションフォーラム: 15,000円(宿泊費10,000円、日当5,000円)
					中国地区リーダー養成研修会	310,440	310,440	0	旅 費	80,000	0	80,000	訪問リハビリテーション地域振興会
									旅 費	210,440	210,440	0	リーダー研修鳥取⇄岡山206,440円・交通費75,110円(10,360円×1名、8,190円×1名、9,880円×1名、14,640円×1名、11,020円×1名、10,420円×1名、10,600円×1名)、宿泊費41,330円(6,300円×1名、6,540円×1名、7,850円×1名、5,760円×1名、5,300円×1名、4,790円×2名)、日当90,000円(5,000円×2日×6名、5,000円×1日×6名) クローズド研修発表事前打ち合わせ会:交通費4,000円(500円×5名、1,500円×1名)
学術部	804,000	833,400	522,995	310,405	事 務 費	2,500	699	1,801	負 担 金	100,000	100,000	0	中国支部(士会負担金)
									事務用品費	1,000	699	301	プラスチック衣装ケース
					勉強会活動費	160,000	43,645	116,355	通 信 費	1,500	0	1,500	
									勉強会活動費	160,000	43,645	116,355	東部地区全般28,500円、中部精神科15,145円
					研修会支援費	30,000	0	30,000	研修会支援費	30,000	0	30,000	高額研修への支援金(中部精神科30,000円)研修中止の為0円
									特別講演 報償費	9,000円			
					第12回県学会	624,900	475,651	149,249	講師費	137,500	103,080	34,420	旅費 92,380円(交通費86,380円+宿泊費6,000円)
									学術集会 旅費	500円×1名、1,200円×1名			
									会 場 費	25,000	22,096	2,904	会場費 12,096円
									印刷製本費	240,900	173,094	67,806	会場関連費 10,000円
									学会誌印刷製本				学会誌印刷製本 160,000円
									会 議 費	5,000	0	5,000	ポスター・チラシ作成 10,770円
									事 務 費	50,000	39,436	10,564	垂れ幕作成 2,324円
									役 務 費	96,900	91,000	5,900	
									需 用 費	62,600	46,945	15,655	事務用品費 4,432円
									予 備 費	7,000	0	7,000	通信費 35,004円
					第13回県学会	16,000	3,000	13,000	役 務 費	16,000	3,000	13,000	委員旅費78,000円
									役 務 費	16,000	3,000	13,000	当日スタッフ旅費13,000円(20名×500円、1,500円×2名)

教育部	176,000	176,000	139,228	36,772	事 務 費	7,500	3,728	3,772	事務用品費	2,000	756	1,244	事務用ファイル324円、封筒216円、クリアケース108円、朱肉インク108円					
					講 師 費	137,600	123,000	14,600	通信運搬費	5,500	2,972	2,528	振込み料432円、切手2,400円、送料140円					
									報 償 費	120,000	108,000	12,000	現職者共通研修講師48,000円(6,000円×8名)					
									旅 費	17,600	15,000	2,600	事例報告指導60,000円(6,000円×10名)					
会 場 費	25,000	9,500	15,500	会 場 費	25,000	9,500	15,500	現職者共通研修 前期(西部)5,000円、後期(中部)4,500円										
役 務 費	5,900	3,000	2,900	旅 費	5,900	3,000	2,900	現職者共通研修10,500円:前期西部4,500円(500円×3名、3,000円×1名)後期中部6,000円(1,500円×4)										
領域対策部	206,000	206,000	130,764	75,236	事 務 費	2,000	0	2,000	事務用品費	1,000	1,000	0	事例報告 4,500円(500円×9名)					
					現職者選択研修	204,000	130,764	73,236	通 信 費	1,000	1,000	0	現職者共通研修 前期(西部)4,500円、後期(中部)4,500円					
									講 師 費	99,000	73,145	25,855	現共研 後期中部2,500円(500円×2名、1,500円×1)、現職選択研500円(500円×1名)					
									会 場 費	20,000	5,000	15,000	報償費 県外36,000円 県内6,000円					
									印刷製本費	20,000	3,000	17,000	旅費31,145円:県外講師 宿泊費8,565円、交通費(米子⇄西宮)21,580円 、 県内講師1,000円(500円×2名)					
									会 議 費	5,000	4,300	700	会場費					
									事 務 費	1,000	873	127	コピー用紙代、印刷トナー代					
									役 務 費	30,000	23,000	7,000	講師打合せ会場費					
									需 用 費	24,000	21,446	2,554	事務用品108円、通信費765円					
													500円×8回×1名、500円×7回×5名、500円×3回×1名					
													講師昼食 1,211円(2名分)					
													委員昼食 3,635円(6名分)					
													前日夕食 4,200円(700円×6名)					
									予 備 費	5,000	0	5,000	講師茶菓子・飲み物 12,400円					
					財務部	298,000	298,000	229,792	68,208	事 務 費	34,600	27,054	7,546	事務用品費	19,100	16,018	3,082	ウイルス対策ソフト13,540円、ファイル216円、コピー用紙210円、インク2,052円
										通 信 費	10,500	6,476	4,024	振込手数料2,160円、ポランティア保険手数料216円(108円×2回)切手4,100円(82円×50枚)				
										利 用 料	5,000	4,560	440	会計ソフト年間利用料				
										役 務 費	33,000	13,500	19,500	旅 費	33,000	13,500	19,500	監査5,000円(3,000円×1名、500円×4名)、総会金費受付4,500円(1,500円×3名)現職者共通受付1,000円(500円×2名)、財務部業務2,000円(500円×4回)、税理士相談時500円、納税500円
需 用 費	4,500	4,438	62	食 糧 費						3,500	3,500	0	700円×5名					
茶菓子代	1,000	938	62															
生活行為向上マネジメント委員会	558,000	558,000	48,600	509,400	相 談 費	64,800	64,800	0	相 談 料	64,800	64,800	0						
					保 険 費	161,100	120,000	41,100	保 険 費	161,100	120,000	41,100	120,000円(800円×150名)					
					事 務 費	6,400	0	6,400	事務用品費	4,400	0	4,400						
					講 師 費	172,000	0	172,000	通 信 費	2,000	0	2,000						
									報 償 費	84,000	0	84,000						
									旅 費	88,000	0	88,000						
					会 場 費	24,000	0	24,000	会 場 費	24,000	0	24,000						
					印刷製本費	30,000	0	30,000	印刷製本費	30,000	0	30,000						
					会 議 費	5,000	0	5,000	会 議 費	5,000	0	5,000						
					役 務 費	260,600	48,600	212,000	旅 費	260,600	48,600	212,000	委員会35,100円(全県13,600円、西部6,000円、中部6,500円、東部9,000円)					
									食 糧 費	25,000	0	25,000	西部地区研修会スタッフ交通費3,500円					
													生活行為向上マネジメント推進会議日当10,000円(5,000円×2日)					
					需 用 費	30,000	0	30,000	食 糧 費	25,000	0	25,000						
					茶菓子代	30,000	0	30,000	茶菓子代	5,000	0	5,000						
					負 担 金	30,000	0	30,000	負 担 金	30,000	0	30,000						
					地域包括ケア対策委員会	400,000	400,000	67,705	332,295	事 務 費	4,900	805	4,095	事務用品費	2,500	805	1,695	コピー代
										通 信 費	2,400	0	2,400					
										講 師 費	160,000	4,000	156,000	報 償 費	60,000	4,000	56,000	研修会4,000円
旅 費	100,000	0	100,000															
会 場 費	35,000	0	35,000	会 場 費						35,000	0	35,000						
印刷製本費	15,000	56,700	△ 41,700	印刷製本費						15,000	56,700	△ 41,700	パンフレット印刷代					
会 議 費	5,000	0	5,000	会 議 費						5,000	0	5,000						
役 務 費	127,200	6,200	121,000	旅 費						84,000	6,200	77,800	スタッフ交通費6,200円(1,500円×3名、1,200円×1名、500円×1名)					
										43,200	0	43,200						
需 用 費	52,900	0	52,900	食 糧 費							6,000	0	6,000					
											1,000	0	1,000					
											3,000	0	3,000					
											11,900	0	11,900					
											7,000	0	7,000					
										茶菓子代	24,000	0	24,000					

認知症対策委員会	367,000	367,000	2,763	364,237	事 務 費	4,900	0	4,900	事務用品費	2,500	0	2,500		
					講 師 費	160,000	0	160,000	通 信 費	2,400	0	2,400		
									報 償 費	60,000	0	60,000		
					会 場 費	35,000	0	35,000	旅 費	100,000	0	100,000		
					印刷製本費	15,000	0	15,000	会 場 費	35,000	0	35,000		
					会 議 費	5,000	0	5,000	印刷製本費	15,000	0	15,000		
					役 務 費	112,000	0	112,000	会 議 費	5,000	0	5,000		
					需 用 費	35,100	0	35,100	旅 費	112,000	0	112,000		
					食 糧 費	25,100	0	25,100						
					茶菓子代	10,000	0	10,000						
				負 担 金	0	2,763	△ 2,763	負 担 金	0	2,763	△ 2,763	チームケアリーダー育成研修事業の不足金負担		
事業活動支出計 (B)	4,315,000	4,547,740	2,401,809	2,145,931										
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	△ 1,067,200	△ 1,739,940	409,352	△ 2,149,292										

地域包括ケアシステム研修事業	1,305,000	1,305,000	0	報酬	89,000	担当 ・西部13,500円(1,500円×9名) ・大研修会62,000円(3,000円×20名、2,000円×1名) ・東中部13,500円
				報償費	272,500	講師謝金 ・西部90,000円(45,000円×2名) ・大研修会92,500円(30,000円、15,000円、47,500円) ・東中部90,000円(45,000円×2名)
				旅費	539,145	講師旅費110,264円 ・西部2,000円(1,000円×2名) ・大研修会106,104円 ・東中部2,160円 委員・スタッフ旅費428,881円 ・西部21,998円 ・大研修会360,915円 ・東中部10,468円 ・東部34,500円 ・中部1,000円
				需用費	267,565	食糧費109,684円 ・西部12,221円 ・大研修会85,611円 ・東中部8,852円 ・東部3,000円 消耗品費102,631円 ・西部44,617円 ・大研修会50,144円 ・東中部7,870円 印刷製本費55,250円 ・西部6,750円 ・大研修会19,800円 ・東中部28,700円
				役務費	868	通信運搬費328円 ・大研修会164円 ・東中部164円 手数料540円 ・西部216円 ・大研修会324円
				使用および賃借料	58,500	会場費 ・西部18,000円 ・大研修会39,000円 ・東中部1,500円
				返金	77,422	
チームケアリーダー育成研修事業	1,360,000	1,362,763	△ 2,763	報酬	92,000	担当 ・第1回32,000円 ・第2回25,500円 ・第3回34,500円
				報償費	298,000	講師謝金 ・第1回70,000円 ・第2回120,000円 ・第3回10,800円
				旅費	496,147	講師旅費243,533円 ・第1回122,414円 ・第2回7,420円 ・第3回113,699円 委員・スタッフ旅費252,614円 ・委員会交通費71,400円 ・委員業務交通費12,500円 ・研修会交通費114,132円 ・委員宿泊54,582円
				需用費	390,079	食糧費136,040円 ・講師打合せ会議費10,000円 ・講師茶菓子代51,353円 ・講師昼食代12,000円 ・役員昼食代10,000円 ・委員昼食代32,922円 ・委員夕食代10,500円 ・委員茶菓子代9,265円 消耗品費 ・69,894円 印刷製本費 ・184,145円

				役務費	10,641	通信運搬費
						・10,641円
				使用および賃借料	75,896	会場費
						・第1回13,000円
						・第2回12,096円
						・第3回50,800円
事業活動支出計	3,532,900	3,535,663	△ 2,763			
事業活動収支差額	0	0	0			

正味財産増減計算書

自 平成27年4月1日
至 平成28年3月31日

勘定科目		当年度	前年度	差額
大科目	中科目			
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収入		(475,900)	(924,800)	(△448,900)
	研修会収入	185,900	618,800	△ 432,900
	学会収入	290,000	306,000	△ 16,000
	その他の収入	0	0	0
正会員収入		(2,215,000)	(2,119,000)	(96,000)
	正会員会費収入	2,215,000	2,119,000	96,000
	賛助会員会費収入	0	0	0
補助金収入		(120,000)	(120,000)	(0)
	補助金収入	120,000	120,000	0
雑収入			(40,151)	(△39,890)
	雑収入	261	40,151	△ 39,890
経常収益計(A)		2,811,161	3,203,951	△ 392,790

単位: (円)

勘定科目		当年度	前年度	差額
大科目	中科目			
(2) 経常費用				
① 管理運営部門		(444,765)	(394,873)	(62,877)
	事務局支出	400,234	383,922	16,312
	規約委員会支出	0	0	0
	倫理委員会支出	956	6,415	△ 5,459
	総会議事運営委員会支出	43,575	4,536	39,039
② 事業費支出		(1,957,044)	(1,950,019)	(△223,125)
	渉外部支出	3,024	8,700	△ 5,676
	広報部支出	432,355	353,619	78,736
	事業部支出	379,818	1,012,811	-632,993
	学術部支出	522,995	71,172	451,823
	教育部支出	139,228	161,760	-22,532
	領域対策部支出	130,764	144,134	△ 13,370
	財務部支出	229,792	197,823	31,969
	生活行為向上マネジメント委員会支出	48,600	0	48,600
	地域包括ケア対策委員会支出	67,705	0	67,705
	認知症対策委員会支出	2,763	0	2,763
経常費用計(B)		2,401,809	2,344,892	56,917
当期経常増減額(C)=(A)-(B)		409,352	859,059	△ 449,707
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益		(0)	(0)	(0)
経常外収益計(D)		0	0	0
(2) 経常外費用		(0)	0	0
経常外費用計(E)		0	0	0
当期外経常増減額(F)=(D)-(E)		0	0	0
当期一般正味財産増減額(G)=(C)+(F)		409,352	859,059	△ 449,707
一般正味財産期首残高(H)		2,226,984	1,367,925	859,059
一般正味財産期末残高(I)=(G)+(H)		2,636,336	2,226,984	409,352
II 正味財産期末残高		2,636,336	2,226,984	409,352

監査報告書

監査報告書

平成28年 4月22日

鳥取県作業療法士会
会長 松本太蔵様

鳥取県作業療法士会

監事 土肥繁樹

監事 早川泰詞



私たち監事は、平成27年度 鳥取県作業療法士会事業の監査結果について、次のとおり報告します。

1. 監査方法の概要

開催された理事会に出席、並びにメール理事会に参加し事業報告を聴取しました。また平成27年度一般会計ならびに特別会計について会計書類等を閲覧するとともに各担当者からの執行状況聴取など必要な監査手続きを実施しました。

2. 監査の結果

事業の実施は、適正であることを認めます。

また、会計についても適正に処理されていることを認めます。

3. 監事の意見

会長、副会長、各部局長、委員長、委員、会員の皆様におかれましては、日頃の業務多忙にも関わらず、事業に御尽力されました。特に、年度途中より開始された鳥取県地域医療介護総合確保基金事業の生活行為向上マネジメント（リハビリテーション）啓発事業、地域包括ケアシステム研修事業、並びにチームケアリーダー育成研修事業の3事業においては、委員長を中心に各担当者が責任を持って企画・運営に携われ、滞りなく事業が終了しましたことに心より敬意を表します。

会員の皆様には本会の円滑な運営のため今後も引き続き事業への参加ならびに会費納入等、ご理解ご協力をお願いいたします。

平成28年度 事業計画

◎ 事務局

1. 本部事務局

(1)会議の開催

- ①定期総会 平成28年 5月15日(日)
- ②理事会 第1回 平成28年 4月30日(土)
- 第2回 平成28年 7月 2日(土)
- 第3回 平成28年 9月17日(土)
- 第4回 平成28年11月26日(土)
- 第5回 平成29年 1月21日(土)
- 第6回 平成29年 3月11日(土)

(2)会員管理事務

- ①会員の入退会管理(担当責任:中部地区副会長)
- ②会員の連絡網整備(電子メール連絡網更新)

(3)文書処理

(4)作業療法士に関連する全国組織との連携

①日本作業療法士協会

- i. 定時社員総会:平成28年5月28日(土)東京 鳥取県代議員:松本太蔵、田住秀之、段敬史
- ii. 日本作業療法士協会・都道府県作業療法士会連絡協議会合同役職者研修会
東京 会長:松本太蔵 もう一名未定
- iii. 47都道府県委員会 年4回 東京
 - 第1回 平成28年4月23日~24日
 - 第2回 平成28年 5月29日
 - 第3回 平成28年9月24日
 - 第4回 平成29年1月28日~29日
- iv. 日本作業療法士協会設立50周年記念式典
平成28年9月25日 東京
- v. 会員情報システム管理 中部事務局
- vi. 日本作業療法士協会の現況調査入力
- vii. その他

②道府県作業療法士会連絡協議会

- i. 総会:平成28年5月29日 東京 会長:松本 太蔵

③災害リハビリテーションコーディネーター研修会
研修等 未定

(5)その他

2. 東部支部

(1)東部地区の会員管理事務

- ①入退会管理 ②名簿作成、中部支部へ提出 ③地区電子メール連絡網更新、本部事務局へ提出

(2)封筒作成

3. 中部支部

(1)中部地区の会員管理事務

- ①入退会管理 ②名簿作成 ③地区電子メール連絡網更新、本部事務局へ提出

(2)全域の会員管理事務

- ①全域の入退会管理、本部事務局へ提出
- ②全域の名簿作成、本部事務局・財務部・教育部・中部地区副会長へ提出

③地区電子メール連絡網更新、本部事務局へ提出

4. 西部支部

(1)西部地区の会員管理事務

①入退会管理 ②名簿作成・中部支部へ提出 ③地区電子メール連絡網更新、本部事務局へ提出

◎ 渉外部

1. 関係機関との渉外、連絡・調整に関わること

(1)鳥取県社会福祉協議会との協力・連携・調整

①平成27年度介護専門職研修事業 研修企画会議

②平成27年度介護専門研修 講師調整

(2)特別支援教育への協力

①会員、学校との連絡調整、実施集計など

②県教育委員会との連携

(3)日本作業療法士連盟総会、研修会参加

(4)国民のための医療推進協議会鳥取集会 総会参加

(5)YMCA 米子医療福祉専門学校との入学、卒業式参加

(6)若草学園、障害者職業センターとの連携

(7)他の関係機関との協力・連携・調整、及び依頼事業への対応

◎ 広報部

1. 士会ニュース発行

年4回発行（91～94号）

2. 広報資料の整備

(1)リーフレットの改訂

(2)パンフレット（日本作業療法士協会より取り寄せ）

(3)オペラ（日本作業療法士協会より取り寄せ）

(4)その他

3. 学校への啓発・広報活動

(1)資料配布

① 高校への配布（施設見学案内を含む）

② 委員会・小学校・中学校・特別支援学校への配布（特別支援教育関係）

(2)施設見学（東部、中部、西部の各地区の承諾施設で実施） 7～8月

4. 一般への啓発・広報活動

(1)作業療法推進キャンペーン活動開催地（西部地区）

(2)その他、啓発・広報活動

5. 作業療法推進月間（8月）

(1)ポスターの配布（配布先：OT在籍施設、市町村役場、OT不在の病院・老健）

(2)オペラ20号の配布

6. ホームページ管理・更新

7. 日本作業療法士協会との連携（Web会議への参加）

8. その他

・啓発グッズ作成・リーフレット作成（2,000枚）

◎ 事業部

1. 訪問リハビリテーション実務者研修会

(1)期日：未定

(2)会場：未定

(3)内容：未定

2. 訪問リハ地域リーダー会議

- (1)期日：平成28年5月20日（金）21日（土）
- (2)会場：東京都江東区青梅 タイム24ビル
- (3)出席者 松本 太蔵（養和病院） 山下 大輔（養和病院）

3. 訪問リハビリテーションフォーラム2016

- (1)期日：平成28年5月22日（日）
- (2)会場：東京都江東区有明 東京ビッグサイト
- (3)出席者：松本 太蔵（養和病院） 山下 大輔（養和病院）

4. 中国ブロックリーダー養成研修会

- (1)期日：平成28年9月3日（土）4日（日）
- (2)会場：島根県出雲市塩冶町 島根大学医学部看護学科棟 講堂
- (3)内容：9月3日
未定
9月4日
講演「地域に求められる作業療法士とチームマネジメント～信念対立アプローチの視点から考える～」
講師：京極 真 氏（吉備国際大学保健医療福祉学部作業療法学科 准教授）
- (4)参加者：未定

5. 鳥取県作業療法士会総会後研修会

- (1)期日：平成28年5月15日（日）
- (2)会場：地域交流センター アゼリアホール（倉吉市山根43）
- (3)内容：①講演「セラピストに求められる態度・コミュニケーション能力」
講師：松本 太蔵 氏（一般社団法人鳥取県作業療法士会 会長）
②3委員会の事業説明
「地域包括ケアシステム対策委員会から」
担当：永見 忠志 氏（一般社団法人鳥取県作業療法士会 理事）
「認知症対策委員会から」
担当：田住 秀之 氏（一般社団法人鳥取県作業療法士会 理事）
「生活行為向上マネジメント委員会から」
担当：土井 宣幸 氏（一般社団法人鳥取県作業療法士会 副会長）

◎ 学術部

1. テーマ別勉強会実施

- (1)東部地区 1テーマ 全般、
- (2)中部地区 2テーマ 中部合同、精神科
- (3)西部地区 5テーマ 作業を考える、C V A、福祉機器・住環境、精神科、治療演習

2. 第13回鳥取県作業療法学会

- (1)西部地区にて開催予定、内容は以下の通り
 - i. 期 日：平成28年12月11日（日）
 - ii. 会 場：養和病院
 - iii. 主 題：「住み慣れた地域で活きたい」
 - iv. 特別講演：講師 川越 雅弘 先生
 - v. 役 割：学 会 長 長谷川 徹 （はまなす）
実 行 委員長 門脇 達也 （養和病院）
副実行委員長 青砥 瞳 （米子病院）
広報 藤井 やよい （皆生温泉病院）
会場機器 倉鋪 千春 （米子東病院）
学会誌・プログラム 赤井 翔太 （訪問看護ステーションネットケア）
演題 中奥 翔太 （博愛病院）

会計	渡部 幸博	(養和病院)
学術部	木嶋智子	(大山リハビリテーション病院)
	佐野 積	(大山リハビリテーション病院)

◎ 教育部

1. 生涯教育制度に関する管理

- (1)ホームページ「生涯教育制度について」更新
- (2)生涯教育履修状況の管理－生涯教育履修リスト更新
- (3)基礎研修ポイント管理・発行
 - ①協会よりポイントシール受領・返却
 - ②士会裁量基礎研修ポイント集計・発行
 - ③現職者共通研修修了ポイント発行
 - ④現職者選択研修会ポイント発行
 - ⑤鳥取県作業療法学会ポイント発行
 - ⑥基礎研修会（士会主催及び共催）ポイント発行
 - ⑦基礎研修ポイント申請の受付・発行

2. 生涯教育制度に関する開催

(1)現職者共通研修会

これまで東・中・西部持ち回りとしていたが従事する教育部員、会場・設備の調整に手間取ることがあるため今後は原則として東中部：鳥取医療センター、西部：YMCA 医療福祉専門学校を会場として開催する。

期日と会場（予定）	区分	テーマ	講師（予定）
①前期 7月24日(日) 会場：東中部 鳥取医療センター	I	作業療法生涯教育概論	花 倉 敏 文：養和病院
		職業倫理	長 田 貴 徳：尾崎病院
	III	保健・医療・福祉と地域支援	長 谷 川 徹：はまなす
		作業療法における協業・後輩育成	田 住 秀 之：YMCA米子
②後期 10月23日(日) 会場：西部 YMCA米子	II	作業療法の可能性	早 川 泰 詞：山陰労災病院
		事例報告と事例研究	高 梨 悠 一：YMCA米子
	IV	日本と世界の作業療法の動向	佐 野 積：大山リハ病院
		実践のための作業療法研究	松 本 太 蔵：養和病院

3. 生涯教育に関する研修会等の認定

- (1)現職者共通研修「事例報告」「事例検討」認定（テーマ別勉強会教育部員が「事例報告会認定申請」を行い、教育部長が受理・認定。学術部員がホームページ掲載依頼）
- (2)基礎研修会認定（テーマ別勉強会教育部員が申請を行い、教育部長が受理・士会主催認定）
- (3)SIG等登録認定（SIGとして認定を希望する団体を会員が申請し教育部長が受理・認定）

4. 日本作業療法士協会の生涯教育制度推進担当者

- (1)生涯教育制度推進委員会への出席
- (2)生涯教育受講登録システムへの登録

5. 会員への情報伝達

- (1)県士会ニュースへの掲載
- (2)ホームページへの掲載

6. 他部との連携・協力

- (1)学術部：テーマ別勉強会、基礎研修会、ポイント発行など
- (2)事業部：鳥取県作業療法学会、訪問リハビリテーション実務者研修会など
- (3)領域対策部：現職者選択研修会など
- (4)事務局：会員管理事務など
- (5)特設委員会：士会主催研修会など

◎ 領域別対策部

1. 現職者選択研修（精神障害領域）

- (1)期日：詳細は今後調整
- (2)会場：未定
- (3)内容：未定

2. 情報配信

◎ 財務部

1. 会費徴収について

- (1)会費徴収
- (2)未納者への督促

2. ボランティア保険加入手続き

県士会事業に関わる会員のみ加入手続きを行う

3. 予算事務に関する特記事項

(1) 事業部

講師費として 24,000 円計上する

(2) 生活行為向上マネジメント委員会

生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業として 474,000 円計上する（鳥取県地域医療介護総合確保基金事業に申請事業）

(3) 地域包括ケア対策委員会

地域包括ケアシステム研修として 374,000 円計上する（鳥取県地域医療介護総合確保基金事業に申請事業）

(4) 認知症対策委員会

チームケアリーダー育成研修事業として 326,000 円計上する（鳥取県地域医療介護総合確保基金事業に申請事業）

◎ 規約委員会

1. 規約委員会の開催（年 2 回以上開催予定）

2. 役員選出規程の策定。それに伴う施行規則の改正 来年度の役員選出に向けて必要な規程の整備を行う

3. その他、施行則・規程内容の追加・修正、削除の作業及び問い合わせ。

4. 各専門部との連携

◎ 倫理委員会

1. 現職者共通研修会「職業倫理」の講演

2. 相談への対応

3. 一般社団法人日本作業療法士協会との連携

◎ 総会議事運営委員会

1. 定時社員総会の議案書・議事録の作成

2. 定時社員総会の開催

(1)期日：平成 28 年 5 月 15 日（日）

(2)会場：地域交流センター アゼリアホール（倉吉市山根 4 3）

(3)内容：平成 27 年度事業報告書承認

平成 27 年度事決算報告書承認及び監査報告

平成 28 年度事業計画及び予算

(4)その他：議長選出、書記任命

◎ 選挙管理委員会

1. 委員会の開催
2. 選挙公示
3. 立候補の受付
4. 広報誌作成
5. 開票日の決定

◎ 生活行為向上マネジメント委員会

1. 生活行為向上マネジメント委員会の開催
全県委員会（年5回） 各地区委員会（年12回）
業務内容
①生活行為向上マネジメント研修会 企画・運営
大研修会1回以上、基礎研修会、事例検討会 計6回開催予定
②生活行為向上マネジメント研修カリキュラムの管理
③生活行為向上マネジメント広報活動
④生活行為向上マネジメント指導者養成

◎ 地域包括ケアシステム対策委員会

1. 研修会開催
(1) 地域包括ケアシステム地区別研修会（3回）
①開催日：未定（東・中・西部で各1回）
②会 場：未定
③テーマ：未定
(2) 地域包括ケアシステム大研修会（1回）
①開催日：未定
②会 場：未定
③テーマ：未定
2. 担当者会議
(1) 地区別会議 東部：6回 中部：6回 西部：6回
①委員メンバーの選出
全体責任者：永見 忠志（皆生温泉病院）
東部責任者：佐野 和代（いなば幸朋苑）
委員：長田 貴徳（尾崎病院）、田村 樹（渡部病院）、下石 勝哉（鳥取生協病院）、
原田 伸吾（デイサービスつむぎ）、大淵 賢一（鳥取赤十字病院）、
村上 聡（まさたみの郷）
中部責任者：福井 由香里（ル・サンテリオン）
委員：松井 香（藤井政雄記念病院）、小南 哲（野島病院）、三浦 純（三朝温泉病院）、
西村 純一（清水病院）、大前 亮子（老健 のじま）
西部責任者：小椋 善文（米子市役所）
委員：横野 洋子（仁風荘）、山本 香織（おしどり荘）、
加藤 淳美（サンライズ名和）、三上 将史（皆生温泉病院）、
田中 卓（養和病院）、村瀬 良知（済生会境港総合病院）
②各地域の現状確認・情報共有・課題抽出と対応の検討、実施。
外部からの依頼に対する協力体制を強化。
③研修会企画・運営
3. パンフレット配布
作製枚数 1200枚
県・各地域包括支援センター・県士会員・その他各関係機関

◎ 認知症対策委員会

1. 委員

委員長：田住 秀之

委 員：石丸 雅崇、横尾 和也、山根 七恵、山本 麻未、赤井理智子、
門脇 達也、金山 雄気、菊本 理恵、舟木 絵美、高梨 悠一、
古土屋 智恵、池本 真一

2. 委員会開催(年 10 回)

3. 認知症研修会の開催（年 3 回）

(1)期 日：未定

(2)会 場：未定

(3)主な内容：チームケアリーダー育成研修事業（鳥取県地域医療介護総合確保基金事業）

①基礎研修；高齢者にみられる精神症状の理解・地域ケアの基本知識と技術

②実践者研修；認知症初期集中支援の実際と支援技術

③ リーダー養成研修；チームケアリーダーに必要なマネジメント、地域課題と取組み

平成28年度予算書

自 平成28年4月 1日
至 平成29年3月31日

勘定科目				備 考
大科目	予算額	小科目	金額	
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
会費収入	2,200,000	年会費	2,200,000	5,000円×440名
研修会収入	990,000	第13回県学会	280,000	2,000円×140名
		現職者共通研修	90,000	1,000円×89名、500円×2名
		現職者選択研修	120,000	2,000円×40名、4,000円×10名
		MTDLP大研修会	100,000	1,000円×100名
		MTDLP地区研修会	100,000	500円×200名
		地域包括ケア	95,000	
		認知症	145,000	全体研修100,000円、2次圏域別研修45,000円
		テーマ別勉強会	60,000	2,000円×30名(中部精神科)
補助金等の収入	120,000	活動費	20,000	日本作業療法士協会
		助成金	100,000	日本作業療法士協会(生活行為向上マネジメント助成事業)
		賛助費	0	
雑収入	1,000	雑収入	1,000	預金利息
事業活動収入合計(A)	3,311,000			

2. 事業活動支出							
(1) 管理運営部門							
	予算額	中項目	金額	小項目	金額	備考	
事務局	578,000	事務費	102,000	事務用品費	57,000	ファイル、コピー用紙、名刺	
				通信費	10,000	発送、切手代、振り込み手数料等	
				封筒作成費	35,000	角2封筒1,500枚	
		会場費	9,000	会場費	9,000	理事会6回 施設利用費(1500円×6回)	
		役務費	350,000	旅費	350,000	OT総会受付手伝い 6,400円(東部@1,200円×2名、中部@500円×2名、西部@1,500円×2名)	
						理事会6回分 123,000円 (東部@3,000円×3名×6回、中部@1,500円×4名×6回、西部@500円×11名×6回)	
						平成28年度定時社員総会 15,000円(日当5,000円×1日×3名)	
						日作協役職者研修会94,540円 (東京2日間: 日当5,000円×2日×2名、宿泊費・交通費74,540円)	
						都道府県作業療法士会連絡協議会総会84,540円(東京: 日当5,000円×1日 宿泊費10,000円 交通費69,540円)	
						県民税納税500円、市民税納税500円	
						47都道府県委員会20,000円(日当5,000円×1名×4回)	
						災害リハビリテーションコーディネーター研修会 日当5,000円×1名	
		需用費	6,000	茶菓子代	6,000	1,000円×6回	
		税金	81,000	法人県民税	21,000	法人県民税・年間(鳥取県)	
法人市民税	60,000			法人市民税・年間(米子市)			
負担金	20,000	年会費	20,000	都道府県作業療法士会連絡協議会			
慶弔費	10,000	慶弔費	10,000	電報(祝電)等			
規約委員会	11,000	事務費	1,400	事務用品費	1,000	資料ファイル4冊	
				通信費	400		
		役務費	4,000	旅費	4,000	500円×4名×2回	
		需用費	5,600	食糧費	5,600	700円×4名×2回	
倫理委員会	2,000	事務費	2,000	事務用品費	1,000	ファイル、その他必要な事務用品	
				通信費	1,000	切手、送料、電話料金	
総会議事運営委員会	41,600	事務費	2,000	事務用品費	1,000		
				通信費	1,000		
		会場費	10,000	会場費	10,000	総会会場費(会場代、備品使用代)	
					4,500	委員会4,500円(500円×3名×3回)	
		役務費	26,600	旅費	22,100	総会22,100円(1,500円×11名、500円×4名、1,200円×3名)	
需要費	3,000	茶菓子代	3,000	1,000円×3回			
選挙管理委員会	40,000	事務費	30,000	事務用品費	30,000		
		役務費	10,000	旅費	10,000		

(2)事業費支出								
渉外部	26,000	事務費	1,200	事務用品費	500 資料ファイル			
				通信費	700			
		役務費	21,800	旅費	21,800	日本作業療法士連盟総会・研修会・大阪18,800円 県教育委員会訪問1,500円×1名 鳥取県国民医療推進協議会総会500円 YMCA米子医療福祉専門学校入学式・卒業式交通費 1,000円(500円、500円)		
			研修会費	3,000	研修会費	3,000	日本作業療法士連盟研修会費	
広報部	1,238,000	事務費	112,000	事務用品費	4,000	ニュース事務費3,000円、ホームページ事務費1,000円 など		
				通信費	91,000	ニュース送料・資料取り寄せ費90,000円 ホームページ通信費1,000円		
				委託費	17,000	作業所委託		
		印刷費	217,000	印刷費	217,000	ニュース印刷費136,000円 リーフレット作成費81,000円(1,000枚)		
		ホームページ費	64,000	管理費	53,000			
				作成費	11,000			
		役務費	20,000	旅費	20,000	広報部担当者打合せ交通費19,300円:(1,500円×2名、500円×2名、1,200円×4名)×2回、公印受渡500円、総会交通費1,200円		
		需要費	2,000	茶菓子代	2,000	打合せお菓子代2,000円(1,000円×2回)		
		啓発キャンペーン	823,000	事務費	700,400	事務費25,000円・送料45,000円(318通×120円+パンフレット送料6,000円)等		
						材料費	15,000	材料費15,000円(100名分)
						会場費	15,000	備品等
				役務費	61,600	事前打合せ:2,700円(500円×3名、1,200円×1名) 会議:24,600円(1,500円×4名、500円×3名、1,200円×4名)×2回 当日スタッフ:27,300円(30名分:1,200円×9名、500円×15名、1,500円×6名) NHK交通費:7,000円(3,000円×2名+500円×2名)		
					需用費	26,000	弁当代:21,000円(700円×30名) 茶菓子代:2,000円(1,000円×2回) 当日協力者休憩用お菓子・飲み物:3,000円(30名分)	
						予備費	5,000	
						事務用品費	2,200	
		事業部	623,000	事務費	4,200	通信費	2,000	
						講師費	24,000	報償費
訪問リハ	280,000			旅費	170,000	訪リハ地域リーダー育成:170,000円(旅費 東京⇄米子 交通費130,000円(65,000円×2名)、宿泊費20,000円(10,000円×2名)、日当20,000円(5,000円×2日×2名))		
					30,000	訪問リハビリテーションフォーラム:30,000円(宿泊費20,000円(10,000円×2名)、日当10,000円(5,000円×2名))		
				負担金	80,000	訪問リハビリテーション地域振興会		
中国地区リーダー養成研修会	314,800			旅費	204,800	リーダー研修204,800円:旅費 鳥取⇄出雲、交通費84,800円(10,600円×8名)、宿泊費20,000円(10,000円×2名)、日当100,000円(5,000円×2日×7名、5,000円×1日×6名)		
					負担金	110,000	中国支部(士会負担金)	
学術部	827,000	事務費	2,500	事務用品費	1,000			
				通信費	1,500			
		勉強会活動費	160,000	勉強会活動費	160,000	20,000円×8テーマ		
		研修会支援費	50,000	研修会支援費	50,000	中部精神科勉強会		
		第13回県学会	598,500	講師費	137,500	特別講演 報償費 36,000円 旅費 100,000円(交通費90,000円+宿泊費10,000円) 学術集会 旅費 1,500円(500円×3)		
					会場費	25,000	会場費 20,000円 会場関連費 5,000円	
				印刷製本費		240,900	プログラム印刷代 60,900円 学会誌印刷製本 180,000円(送料込)	
				会議費	5,000	講師打合せ会場費 5,000円		
				事務費	50,000	事務費 5,000円 通信費 45,000円		
					役務費	72,500	委員旅費 57,500円(500円×6名×12回、500円×2名×11回、500円×1名×10回、500円×1名×5回、500円×1名×4回、500円×2名×1回) 担当旅費 15,000円(500円×10名×2回、500円×4名×1回、1,500円×1名×2回)	
				需用費		57,600	講師等用茶菓子 8,000円 講師・座長昼食 4,000円(1,000円×4名 講師1、座長3) 役員3名昼食 3,000円(1,000円×3名 会長、学会長、実長) 委員・担当昼食 19,600円(700円×28名) 委員茶菓子代 8,000円 委員前日夕食 7,000円 (700円×10名) 講師当日夕食 1,000円 委員当日夕食 7,000円 (700円×10名)	
					予備費	10,000		
				第14回県学会	16,000	役務費	16,000	委員旅費 16,000円(500円×10名×2回、500円×3名×1回、1,500円×1名×3回)

教育部	171,000	事務費	7,100	事務用品費	2,100	事務用ファイル
				通信運搬費	5,000	振込み料、切手
		講師費	138,900	報償費	120,000	現職者共通研修講師48,000円(6,000円×8名) 事例報告指導72,000円(6,000円×12名)
				旅費	18,900	現職者共通研修 11,500円(前期東部9,500円(3,000円×3名、500円×1名)、後期西部2,000円(500円×4)) 事例報告 7,400円(500円×10名、1,200円×2名)
		会場費	20,000	会場費	20,000	現職者共通研修 前期(東部)10,000円、後期(西部)10,000円
役務費	5,000	旅費	5,000	現職者共通研修 前期東部2,000円(500円×4名)、後期西部2,000円(500円×4名)、現職選研1,000円(500円×2名)		
領域対策部	211,000	事務費	2,000	事務用品費	1,000	ファイル×2
				通信費	1,000	
		現職者選択研修	209,000	講師費	99,000	報償費 県外36,000円 県内12,000円(6,000円×2名) 旅費51,000円(県外講師 宿泊費10,000円、交通費 40,000円 米子⇄東京 県内講師 1,000円(500円×2名))
				会場費	20,000	会場費
				印刷製本費	20,000	コピー用紙代、印刷トナー代
				会議費	5,000	講師打合せ会場費
				事務費	1,000	
				役務費	35,000	500円×10名×7回
				需用費	24,000	講師昼食 3,000円(1,000円×3名) 委員昼食 7,000円(700円×10名) 前日夕食 7,000円(700円×10名) 講師茶菓子・飲み物 7,000円
		予備費	5,000			
財務部	281,000	事務費	20,700	事務用品費	5,200	
				通信費	10,500	
				利用料	5,000	会計ソフト年間利用料
		役務費	33,000	旅費	33,000	監査5,000円(3,000円×1名、500円×4名)総会費受付6,000円(1,500円×4名)現職者共通受付3,000円(1,500円×2名)県学会受付3,000円(1,500円×2名)財務部業務10,000円(500円×2名×10回)税理士相談費3,000円(500円×6回)納税3,000円(500円×6回)
		需用費	4,500	食糧費	3,500	700円×5名
				茶菓子代	1,000	
		相談費	64,800	相談料	64,800	
		保険費	158,000	保険費	158,000	800円×195名(理事16名、監事2名、事務局10名、倫理委員会1名、総会議事運営委員会1名、渉外部3名、広報部65名、事業部6名、学術部16名、教育部15名、領域対策部10名、財務部4名、生活行為向上17名、地域包括20名、認知症3名)、手数料1,080円(108円×10回)
生活行為向上マネジメント委員会	474,000	負担金	30,000	負担金	30,000	中国ブロック研修会
		生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業	444,000	事務費	6,400	
講師費	172,000					
会場費	24,000					
印刷製本費	30,000			鳥取県地域医療介護総合確保基金事業に申請事業		
会議費	5,000					
役務費	176,600					
需用費	30,000					
地域包括ケア対策委員会	374,000	事務費	8,000	通信費	8,000	パンフレット送料
		地域包括ケアシステム研修	366,000	事務費	4,900	
講師費	160,000					
会場費	35,000					
印刷製本費	15,000			鳥取県地域医療介護総合確保基金事業に申請事業		
会議費	5,000					
役務費	93,200					
需用費	52,900					
認知症対策委員会	326,000			チームケアリーダー育成研修事業	326,000	事務費
		講師費	160,000			
		会場費	35,000			
		印刷製本費	15,000			鳥取県地域医療介護総合確保基金事業に申請事業
		会議費	5,000			
		役務費	71,000			
		需用費	35,100			
事業活動支出計 (B)	5,223,600					
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	△ 1,912,600					

勘定科目	予算額	小 科 目	備 考
中 科 目			
Ⅱ 投資活動収支の部			
1.投資活動収入			
啓発グッズ等積立預金取崩収入	0		
投資活動収入計 (D)	0		
2.投資活動支出			
啓発グッズ等積立預金取得支出	50,000		郵便振替預金内にて管理
投資活動支出計 (E)	50,000		
投資活動収支差額(F)=(D)－(E)	△ 50,000		
Ⅲ 予備費支出 (G)	200,000		
当期収支差額(H)=(C)+(F)－(G)	△ 2,162,600		
前 期 繰 越 収 支 差 額 (I)	2,336,336		
次期繰越収支差額(J)=(H)+(I)	173,736		

